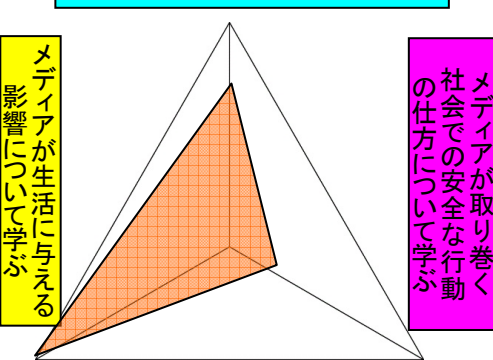


パッケージ名	ポスターを読み解こう（小学校5・6年，2単位時間）
実践のねらい	ポスターの読み解きを通して、送り手の意図に気づく。受け手としては、送り手の意図を理解した上で、どんな視点でポスターを眺めたらいいのかわかる。
この実践のメディアについて学ぶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div> 	実践の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○想定する子どもの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに溢れているポスター・ちらし・テレビコマーシャルなど、様々な宣伝には、作る側の意図がある。しかし、それを見る側は、その意図をほとんど意識しないで見ている。 ○パッケージの目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作る側＝送り手と、それを見る側＝受け手の立場から、ポスターを主体的に読み解いていこうとする意識を高める。 ・送り手の意図を読み解く：有名人やキャラクター、言葉で人を引きつける。 ・見る側としての態度・判断：送り手には意図があることを理解した上で見る。ポスターに表現されていることを鵜呑みにしない。 ○留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにポスターを集めさせると興味関心が高まる。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る

送 = 情報の送り手としての力を育てるために

I、ポスター見て自由に意見を述べる（20分）

○ **ポスターを見て思ったことを発表しましょう。**

受 何枚か用意したポスターを子どもに見せ、自由に感想を述べさせる。感想は、言葉（キャッチコピー）、登場人物やキャラクター、背景、色、等に分類し板書する。

送 キャッチコピー（商品のいいところや特徴を短い言葉で表している）、ボディコピー（さらに詳しく説明しているもの）の意味を知らせる。

ポスターを並べたイメージ図
キャッチコピー（参考例）

II、ポスターの工夫を探す（25分）

○ **ポスターの工夫を見つけましょう。**

受 キャッチコピー 登場人物 色 背景などについて考えることができるポスターを提示する。ポスターは間近でじっくり見せた方がよい。そうすることで、小さな発見を見逃さないようにする。

送 ここでは工夫を見つける場だが、子どもからポスターの表現や制作者の意図について疑問の声が上がったら大事に扱い、次の学習場面に生かす。

WS: ポスターの工夫を見つける

III、工夫しているわけを考える（20分）

○ **それぞれ工夫しているわけを考えましょう。**

送 <気づいてほしいこと>
有名人を登場させることで、ファンに買ってほしい気持ちがある。キャッチコピーは、口ずさみやすい言葉にしてみんなに覚えてもらいたい。

WS: 工夫しているわけ

IV、どんなことに気をつけてポスターを見たらいいのか話し合う(20分)

○ **ポスターを見て、つい何かを買ってしまった経験はありますか。**

受 自分の生活を振り返り、ポスターに惹かれて買ってしまった経験を話し合う。どうしてポスターに惹かれて買ったのか、本時で扱った発信者の意図とあわせて考えるようにする。

V、送り手と受け手の立場に立って本時を振り返る(20分)

送 ○ **今日の授業でわかったことや考えたことを書きましょう。**

受 ポスターを作る側の思い（意図）と、それを見る側の気持ち（判断）について考えることで、両者の気持ちになってみる。

WS: ポスターの読み解きをして考えたこと。振り返り